

51:41 ああ、バビロンは攻め取られ、全地の榮譽となっていた者は捕えられた。ああ、バビロンは国々の間で恐怖となった。

51:42 海がバビロンの上にのしかかり、その波のざわめきにそれはおおわれた。

51:43 その町々は荒れ果て、地は砂漠と荒れた地となり、だれも住まず、人の子が通りもしない地となる。

51:44 わたしはバビロンでベルを罰し、のみこんだ物を吐き出させる。国々はもう、そこに流れ込むことはない。ああ、バビロンの城壁は倒れてしまった。

51:45 わたしの民よ。その中から出よ。主の燃える怒りを免れて、おのおの自分のいのちを救え。

51:46 そうでないと、あなたがたの心は弱まり、この国に聞こえるうわさを恐れよう。うわさは今年も来、その後の年にも、うわさは来る。この国には暴虐があり、支配者はほかの支配者を攻める。

51:47 それゆえ、見よ、その日が来る。その日、わたしは、バビロンの刻んだ像を罰する。この国全土は恥を見、その刺し殺された者はみな、そこに倒れる。

51:48 天と地とその中のすべてのものは、バビロンのことで喜び歌う。北からこれに向かって、荒らす者たちが来るからだ。・・・主の御告げ。・・・

51:49 バビロンは、イスラエルの刺し殺された者たちのために、倒れなければならない。バビロンによって、全地の刺し殺された者たちが倒れたように。

51:50 剣からのがれた者よ。行け。立ち止ま

るな。遠くから主を思い出せ。エルサレムを心に思い浮かべよ。

51:51 『私たちは、そしりを聞いて、はずかしめを受けた。他国人が主の宮の聖所にはいったので、侮辱が私たちの顔をおおった。』』

バビロンはイスラエルを苦しめただけでなく、他の国々をも苦しめました。なので「天と地とその中のすべてのものは、バビロンの（倒された）ことで喜び歌う。」とあります。またバビロンは「ベル」という偶像を拝む、偶像礼拝の国民でもあったのです。

主のさばきはこれらすべての罪に対してのものです。主は正しいお方ですから、罪をいい加減にはなさいません。神の民だからと言って、大目に見るということはありませんし、その敵であるからと言って、特別に苦しめるということはないのです。

イスラエルは罪の報いを受けましたし、またバビロンも罪の報いを受けました。両者の違いは、神の赦しにより頼んだかということです。私たちは同じです。主に赦しを求め、主により頼みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

